

ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。

なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな？と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名(表紙右上表示)、②お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書等を必ずご用意下さい。

③故障、不具合状況によっては一緒に電話口にて動作確認させていただきますので、製品を近くにご用意ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで
製品サポート情報や、お問い合わせについてご覧いただけます。
<http://www.tohshoh.jp>

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244

FAX 048-997-2082

受付時間 月～金 9:30～17:30 休業日 土・日・祝日

cs@tohshoh.jp

株式会社とうしょう カスタマーサービス
〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ首根1442-1

保証書

※お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書を添付し大切に保管ください。

品名	壁掛けができる かんたん CD コンポ		型番：WM-2760BT
お客様	お名前	ご住所	
		電話番号 ()	
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買上げ日より)	本体 1 年 (但し消耗品は除く)		

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。

- ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ②お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。

③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。

④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。

⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。

⑥本書のご提示がない場合。

⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＜製品部品の保有期間＞ 部品の保有期間は製品製造終了から6年間です。

※一年間は無料修理を行います。但し、お買上げより一ヶ月間が過ぎてからの修理依頼に関して、弊社への送料はお客様ご負担にて願います。尚、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。

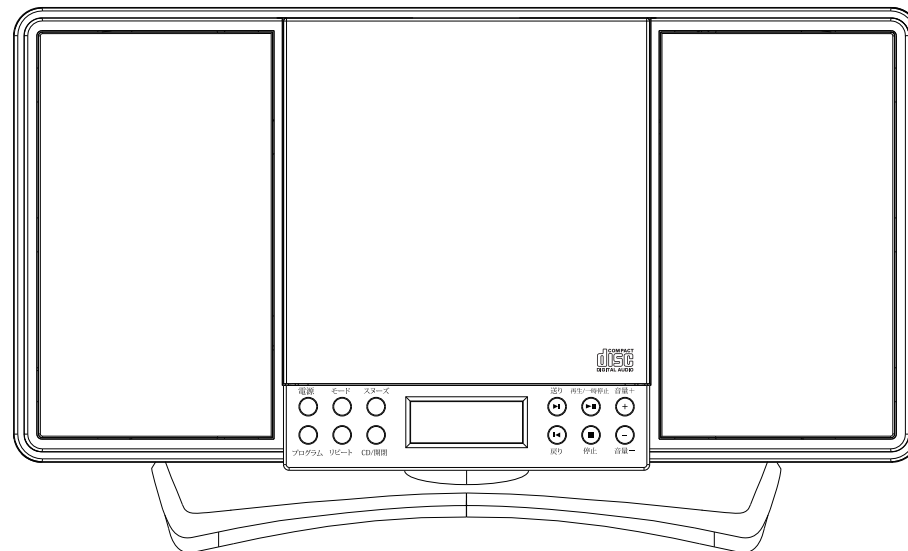
壁掛けができる

かんたんCDコンポ

取扱説明書(保証書付)

ご使用前に必ずお読み下さい！

このたびは、お買上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



目次

安全上の注意	・・・ P1	FM ラジオの使用方法	・・・ P5	スリープ機能の使用方法	・・・ P8
使用上の注意	・・・ P2	CD の使用方法	・・・ P6	アラーム機能の使用方法	・・・ P9
各部の名称	・・・ P3	ブルートウスの使用方法	・・・ P7	こんなときは /	
ご使用の準備	・・・ P4	外部入力 (AUX) の使用方法	・・・ P8	故障かな？と思ったら	・・・ P10
		イヤホンの使用方法	・・・ P8	仕様	・・・ P10






輸入販売元：株式会社とうしょう

〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ首根 1442-1

カスタマーサポート：048-997-2244

安全上の注意

絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

- 本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターをコンセントから引き抜くときは、ACアダプターを持って引き抜いてください。火災・感電の原因となります。



- 本器の裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。ACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- ACアダプターのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



- 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。)



注意

- 直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 長時間使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。

- ACアダプターは付属のもの以外を使用しないでください。火災・感電の原因となります。



こんなときは / 故障かな?と思ったら

●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症 状		ここをお確かめください
音が出ない 音が途切れる		<ul style="list-style-type: none"> ●音量は十分ですか? ●イヤホンが挿入されていませんか? ●ACアダプターの接続を確かめてください。
CD	再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機で使用できないCDではありませんか? ●CDの裏表が間違っって挿入されていませんか? ●CDが汚れていませんか?
	音飛びがおこる音がかすれる雑音が混ざる途中で止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●CDに大きな傷やそりはありませんか? ●CDが汚れていませんか?
Bluetoothに接続できない		<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンのBluetooth機能はONになっていますか? ●再生機器がすでに他の機器とペアリングされていませんか? ●本機がすでに他の機器とペアリングされていませんか?
FMラジオが受信できないFMラジオの雑音が多い		<ul style="list-style-type: none"> ●本体背面のFMアンテナケーブルを伸ばして下さい。 ●受信状態の良い方向にアンテナの向きを変えて下さい。 ●オートサーチを使用した場合、電波が弱い場合は自動では止まりません。

仕様

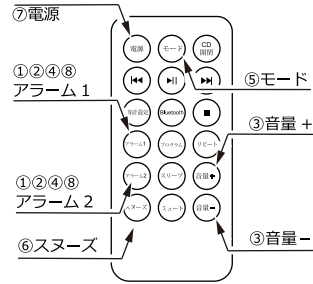
- 本体サイズ / 幅(W): 315mm
奥行(D): 62mm
高さ(H): 208mm
- 基本機能: CD(再生専用) / FMラジオ / Bluetooth受信 / AUX
- 付帯機能: 時計 / アラーム / スリープ / プログラム
- FMラジオ: 76.0MHz ~ 108.0MHz (ワイドFM対応)
※アンテナコード長: 約1.2m
- 本体重量: 約 900g
- 材質: ABS樹脂、他
- 電源: AC100V 50/60Hz
DC5.9V
- 消費電力: 9W
- スピーカー出力: 1.2W×2
- 入出力端子: AUX入力端子(3.5mmステレオミニジャック)
イヤホン端子(3.5mmステレオミニジャック)
- 付属品: 保証書付き取扱説明書(本書)
ACアダプター(コード長: 約1.5m) / リモコン
- 生産国: 中国

アラーム機能の使用法

本機では2つのアラーム（アラーム1/アラーム2）で3つの音源（ブザー音/FM/CD）からセットした時刻に音を鳴らすことが可能です。

アラーム時刻の設定 ※アラームの設定は本体の電源が切れた状態（時刻表示）で操作して下さい。

- ①リモコンのアラーム1ボタンを押してアラーム機能をオンにします。
ディスプレイに 1 が表示されます(アラーム2の場合は 2 が表示)
- ② 1 が表示された状態でリモコンのアラーム1ボタンを長押しすると
1 が点滅します。(アラーム2の場合は 2 が点滅)
- ③音量-ボタンで時間、音量+ボタンで分数を調整しアラームを鳴らす
時間をセットします。
- ④リモコンのアラーム1ボタンを押すと 1 の表示が点滅から点灯に
変わり(アラーム2の場合は 2 の表示)アラーム時刻の設定が完了。



アラーム音源の設定 ※アラームの設定は本体の電源が切れた状態（時刻表示）で操作して下さい。

上記①～④の設定が完了し、そのまま何もしなければ設定した時間に「ブザー音」が鳴ります。さらにCDやFMラジオを設定時刻に鳴らすことも可能です。

準備 アラーム設定時刻にCDを鳴らしたい場合はあらかじめ本体にCDをセットしておきます。
アラーム設定時刻にFMラジオを鳴らしたい場合はあらかじめチューニングをしてFM放送が鳴る状態にしておきます。

- ⑤ 上記②のアラームマークが点滅している状態でリモコンのモードボタンを押すたびに「CD」「FM」から消灯の表示が切り替わります。希望する音源表示でモードボタンの操作をやめ、アラームボタンを押し設定を完了してください。
※CDを設定してCDが入っていない場合、アラーム設定時間には「ブザー音」が鳴ります。
※FMラジオを設定してチューニングがされていない場合、アラーム設定時間にはノイズのみが鳴りますのでご注意ください。

アラームの停止・解除

- ⑥スヌーズ機能：アラームが設定時刻に鳴ってからリモコンのスヌーズボタンを押すと一度再生が止まり10分後に再度アラーム再生が再開します。
- ⑦アラーム停止：アラームが設定時刻に鳴ってから電源ボタンを押してアラームを止めた場合、アラーム設定がされた状態で翌日の設定時刻まで停止し、翌日の設定時刻に改めてアラーム再生をします。
- ⑧アラーム解除：本体電源オフの状態（時刻表示）でアラーム1/アラーム2ボタンを押し 1/2 の表示を消します。

使用上のご注意

本製品は精密機械です。熱・水・湿気・埃や砂・衝撃により故障・破損・変形する事がありますので、以下の点にご注意ください。

- 防水性能はありません。水濡れによる故障、湿気・結露等による基盤腐食が原因の故障は修理が出来ず保証対象外となります。
- 夏場の暑い車内や海岸などの直射日光のあたる高温の場所に放置するとキャビネットの変形や故障の原因となります。
- 海岸など砂・埃の多い屋外での使用は故障の原因となります。本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。洗剤やアルコールなどのご使用はキャビネットの変質・故障・破損の原因となります。
- 本製品は精密機械です。落下や振動など強い衝撃を与えないでください。落下などによる故障は修理ができず保証対象外となります。

結露について

本機が冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急激に室温を上げると、本体内部の動作部に露が生じ（結露）本機の性能が発揮できなくなることがあります。その場合は1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてからご使用下さい。

CDの取扱について

- 本機で再生可能なディスクは右のマークのある市販の音楽CD、もしくはCD-R/CD-RWです。(CD-DA[Compact Disc Digital Audio]形式のみ)
※CD-R/CD-RWは記録されたデータ形式によっては再生できません。
※MP3/CDG/CDV/CD-I/CD-ROM/DATA-DISC/DVD/BDは使用できません。
※コピーガード付きCD(CCCD等)は再生できない場合があります。

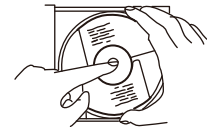


■ディスクの取扱について

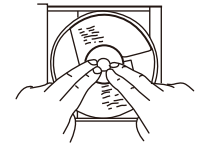
ケースから出すときはセンターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って取り出します

再生面には手を触れないで下さい

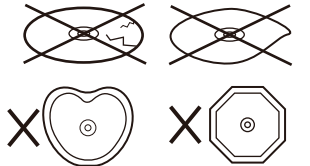
ケースにしまうときは印刷面を上にして、上から押さえて入れます



再生面



- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですので絶対に使用しないでください。
- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- ハート型や八角形などの特殊形状のディスク、シールなどが貼付されたディスクは使用しないでください。故障の原因となります。



■ディスクのお手入れについて

- ・お手入時はシンナーやベンジン、アナログレコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
- ・CDを拭くときは柔らかいタオル等をご使用ください。ティッシュペーパーはディスクに細かな傷がつくので使用しないでください。
- ・CDを拭くときは、中心から外側に向かって放射状にまっすぐ拭いてください。CDは同心円状の傷に極端に弱いので、レコードのように円に沿って拭くと再生が出来なくなる可能性がありますのでご注意ください。

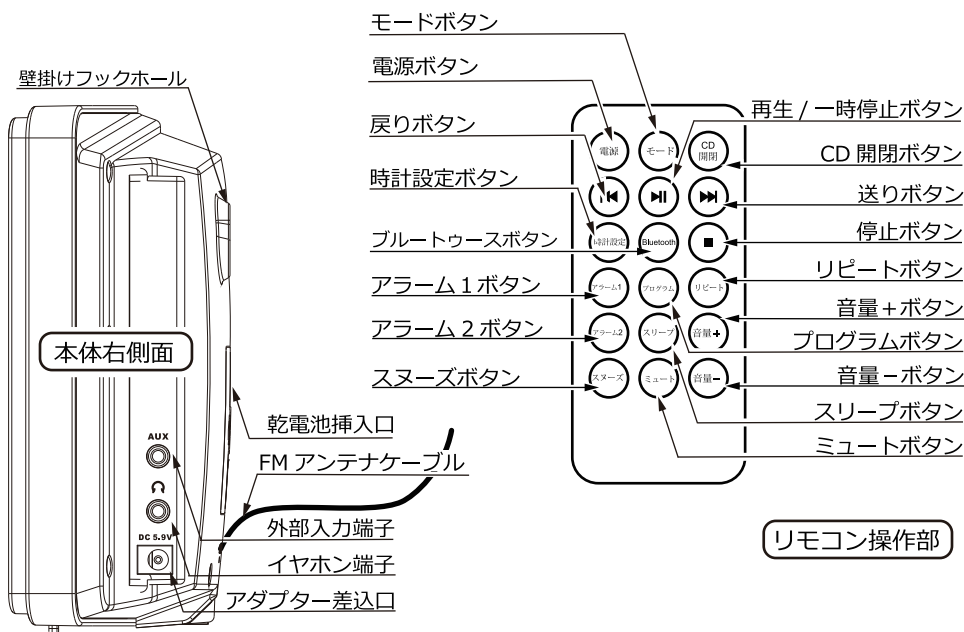
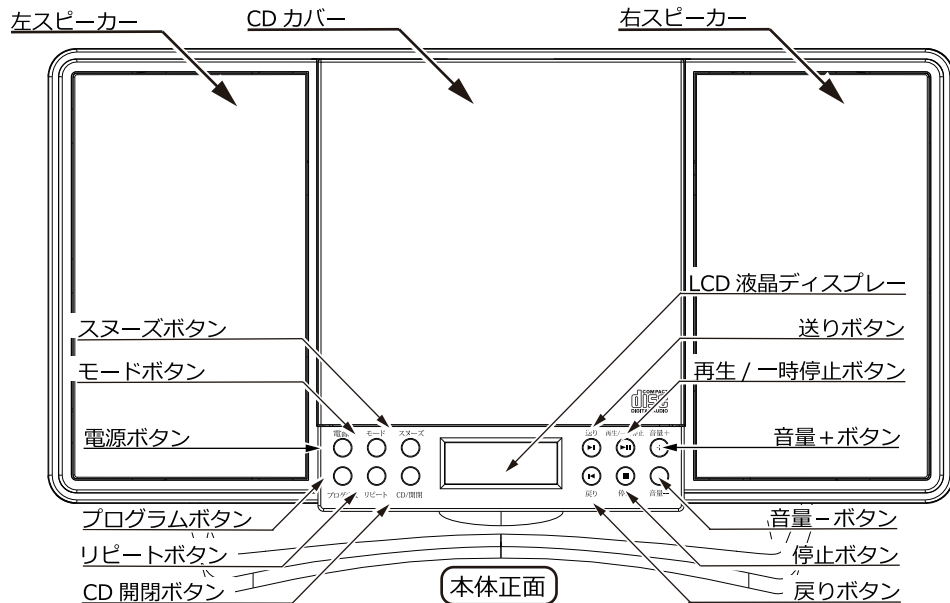


※少しずつずらしながら放射状に全体を拭く

■ディスクの保管方法

- ・直射日光の当たる場所や温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

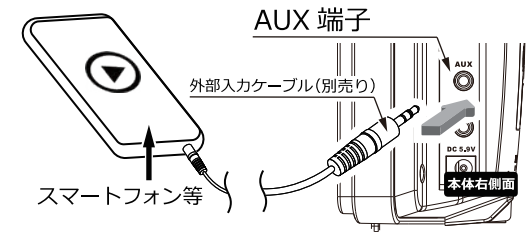
各部の名称



外部入力 (AUX) の使用方法

本機ではスマートフォンやミュージックプレーヤー等の外部機器のイヤホン端子からケーブル (別売り) を接続して、外部機器で再生した音楽を本機で鳴らすことができます

- ①スマートフォン・ミュージックプレーヤー等外部機器のイヤホン端子に別売りの外部入力ケーブル (3.5mmステレオミニジャック) を接続します。ケーブルのもう一端を本機のAUX端子に接続してください。
- ②本機の電源をオンにして「モード」ボタンでAUXに切替えます。
- ③外部機器の音量を0にしてから外部機器を再生して徐々に音量を大きくしてください。

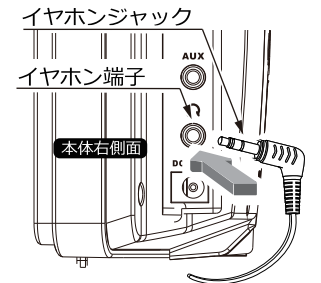


※いきなり再生すると音が大きすぎて本機が故障する場合がありますのでご注意ください。

イヤホンの使用方法

本機ではステレオイヤホン (別売) で音楽を聴くことができます。

- ①本機でCD/FMラジオ/ブルートゥース/外部入力 (AUX) を再生中、本機の音量を小さくします。(音量が大きいままイヤホンを差し込むとイヤホンまたは使用者の耳を傷める可能性がありますので十分にご注意ください)
- ②お手持ちのステレオイヤホンのジャックをイヤホン端子に差し込みます。
- ③本機の音量を徐々に上げて、適切な音量に合わせて下さい。

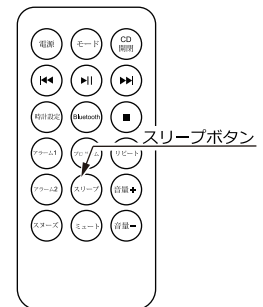


※本機で使用可能なイヤホンはジャックが3.5mmφステレオミニジャックのものに限ります。ジャックの形状が合わないものや、モノラルイヤホン (片耳イヤホン) は使用できません。

スリープ機能の使用方法

本機ではおやすみ前など音楽を再生中にスリープ機能を使用して、設定した時間で自動的に電源を切り再生を止めることが可能です。

- ①本機でCD/FMラジオ/ブルートゥース/AUXの再生中に、リモコンの「スリープ」ボタンを長押しします。
- ②ディスプレイに90 → 75 → 60 → 45 → 30 → 15の順番で何分後に電源を切るかの分数表示が出ます。希望の分数表示でボタンから手を放してください。
- ③スリープの解除は①～②操作で15を表示させた状態で「スリープ」ボタンを押します。数字の表示が消え通常のCD/FMラジオ/ブルートゥース/AUXの表示に変われば解除完了です。



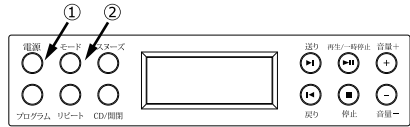
Bluetoothの使用法

本機はBluetoothレシーバーの機能を搭載しており、Bluetooth送信機能のある再生機器（スマートフォン、MP3プレーヤー等）を無線で再生、操作することができます。

準備 Bluetooth通信は送信、受信で1：1の接続が原則です。お手持ちの再生機器がすでに他のBluetoothレシーバー（ヘッドホン、スピーカー等）に接続されている状態では、本機との接続はできません。お手持ちの再生機器の設定画面等で他のBluetoothレシーバーとのペアリングを解除してからご使用ください。

接続操作 本機でBluetooth機能を使用するためには接続（ペアリング）操作が必要です。

①電源ボタンを押し電源オンにします（ディスプレイが明るく点灯）



②モードボタンを押しBluetoothに切り替えます。

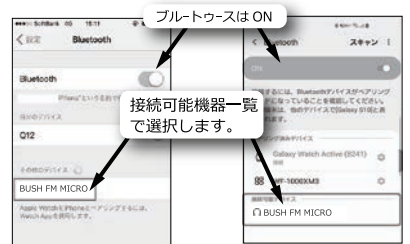
「b t」マークが点滅します。

③お手持ちの再生機器でBluetooth機能をオンにして、ペアリング画面で本機「BUSH FM MICRO」を検索、選択します。

※お手持ちの再生機器のペアリング画面でパスワード（パスワード）の入力を求められた場合は「0000」を入力してください。

※詳細はお手持ちの再生機器の説明書をご確認ください。

④接続が完了すると確認音が鳴り「b t」マークが点灯が変わります。



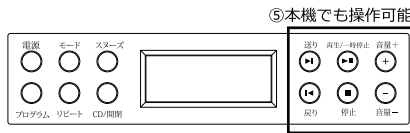
【参考】iPhone 設定画面

【参考】Android 設定画面

再生方法 接続した再生機器がAVRCP対応の場合、再生・送り・停止など本機から操作することができます。

⑤お手持ちの再生機器の再生ボタンを押し再生します。

※送り / 戻り / 停止等、お手持ちの再生機器の操作により操作が可能な他、本機のボタンによる操作も可能です（AVRCP）

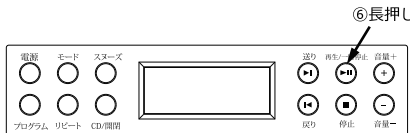


解除方法 ご使用後は必ず接続を解除してください。再生機器の他の機能が正しく働かない場合があります。

⑥通信終了し接続解除するには以下の何れかで解除してください。

「b t」マークが点灯が変わります。

- ・本機の再生 / 一時停止ボタンを3秒以上長押し（bt表示消灯）
- ・お手元の再生機器でBluetoothを解除（bt表示点滅）



⑦次回以降ペアリングする場合③以降と同じ操作で接続してください。

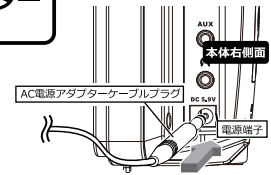
ご使用の準備

本製品は乾電池だけでは作動しません。かならず AC アダプターを接続してご使用ください。

●AC電源アダプターの接続：右図を参照して接続して下さい。

①AC電源アダプターをコンセントに差し込みます。

②AC電源アダプターケーブルプラグを本体右側面の電源端子（DC5.9V）に差し込みます。



●単四乾電池の挿入：右図を参照して挿入して下さい。

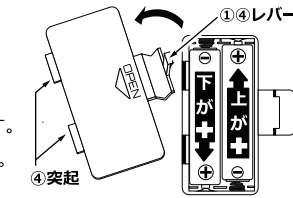
①本体背面電池ケース右のレバーを左に引きながらフタを手前に開き外します。

②左側の電池をバネを潰すようにマイナス側から入れ下のプラスをはめます。

③右側の電池をマイナス側から入れバネを潰し、最後に上部のプラスをはめます。

④フタの左部の突起を本体にはめ、右部のレバー部をカチッというまで閉めます。

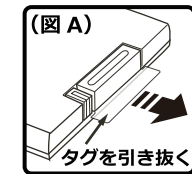
※この電池は時間やラジオのプリセット登録を記憶するためのバックアップ用電池です。



●リモコンの準備：右図を参照して準備して下さい。

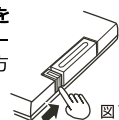
購入後初めてリモコンをお使いになるときは、本体下面についている透明なタグを引き抜いて下さい。あらかじめリモコンにセットされている電池が通電されリモコンが使用できます。（図A）

※出荷前の検査・検品であらかじめ取り除かれている場合があります。



●リモコン電池の交換方法 ※使用する電池の型番は「CR2025」です。お求めの際は間違えない様ご注意ください。

①リモコンのボタンを下にして置きトレー左側のフックを右方向に押し付けます。（図1）



②フックを右に押し付けながらトレーを手前に引き出します。（図2）



③ボタン電池「CR2025」を+を上にしてトレーにセットします。（図3）



④トレーを元に戻します。（図4）



電池に関するご注意

電池を誤使用すると、発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。

- 充電電池（ニカド、リチウムイオン）などは使用しないで下さい。
- 異なる種類の電池を使用しないでください。
- ±（プラスマイナス）を正しくセットして下さい。
- 外した電池を誤って口にしないようにご注意ください。（万が一誤飲した場合はすぐに医師へご相談下さい）
- ショートさせたり、充電・分解・加熱・火の中に入れて下さい。
- 長期間使用しない場合や使用済の電池は取り外して下さい。液漏れの原因となり修理が出来ず保証対象外となります。
- 電池の液が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し速やかに医師の治療を受けてください。

●時計の合わせ方

①時計の調整は**本体の電源が切れた状態（時刻表示）**で操作して下さい。

②リモコンの「時計設定」ボタンの長押しで24Hを表示させ、「音量+」「音量-」ボタンで24時間表示または12時間表示を選択します。

③リモコンの「時計設定」ボタンの短押しで時間を表示させ「音量+」ボタンで分数部分を、「音量-」ボタンで時間部分を合わせます。

④「時計設定」ボタンを押すと設定が完了し、：マークが点滅します。（完了）

※**本体に単四乾電池を挿入している場合、電源コンセント・ACアダプターを抜いても時間設定は保持されます。**

ACアダプターのみでご使用の場合や単四乾電池の容量がない場合は、電源コンセント・ACアダプターを抜いた場合時計はリセットされ、都度時計合わせの操作が必要となります。なお、時計を合わせなくても再生機能は使用可能です。

壁かけ設置について

本製品は本体を壁にかけた状態で設置・使用する事が可能です。

※本体重量は約 900 g です。本体重量を十分に支えるためにはネジ / 釘等で壁に固定する必要があり、撤去後も壁にネジ穴等の痕跡が残ります。賃貸物件等の場合は事前に設置可否を確認のうえ設置して下さい。

※本体を壁掛けで設置する場合、地震等による落下を防ぐために固定されたネジ / 釘等に 6 k g 程度の耐荷重強度が必要となります。ご不明な場合は専門家への相談をお勧めします。

※壁掛け設置用のネジ / 釘は付属しておりません。下図を参照の上使用可能なものを別途ご準備下さい。

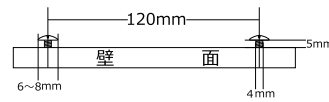
※本製品の設置により発生する壁等への傷・破損等につきましては、弊社では一切の責任を負い兼ねます。また本製品の本体重量を十分に支える設置がされていない事で発生する落下・破損・故障につきましても保証の対象外となり、落下等に併い発生する損害についても、弊社では一切の責任を負い兼ねます。十分にご注意下さい。

●設置方法

①本体背面、スタンド上部のフックを押しのままスタンドを本体から外します。

②希望する設置場所にネジまたは釘を120mm間隔に固定します。(右図参照)

③固定したネジまたは釘に本体背面の壁掛けフックホールを掛け設置します。



FM ラジオの使用方法

①電源ボタンを押し電源オンにします。(ディスプレイが明るく点灯)

②モードボタンを押しラジオに切り替えます。

③FM ラジオをチューニングします。

A) 手動チューニング

戻り◀ボタン(低く)/送り▶ボタン(高く)を押し受信したい放送局の周波数に合わせます。

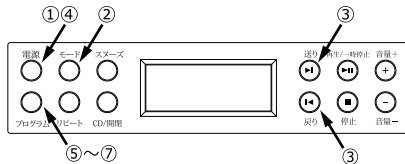
B) 自動チューニング

戻り◀ボタン(低く)/送り▶ボタン(高く)を長押しすると、電波を自動でサーチし、放送を受信すると自動で止まります。

※自動チューニングの取消は戻り◀/送り▶ボタンを押します。

④ラジオをオフにするには電源ボタンを押します。

- AMは受信できません
- 本体背面のFMアンテナを伸ばして受信して下さい。
- 本機はワイドFM対応チューナーです。AMで受信できない放送局でもワイドFM開局済であればFM 90MHz以上の帯域で受信可能です。



プリセット登録

受信可能な放送局を最大 10 件まで登録、ボタン操作で呼び出しが可能です。

⑤ 上記③でチューニングした状態でプログラムボタンを押しディスプレイに「P01」を表示させます。

⑥プログラムボタンを長押しして「P01」を点滅させます。

⑦再度プログラムボタンを長押しすると「P01」の点滅が止まり、現在受信している放送局が登録されます。

※上記⑤でプログラムボタンを押す回数に伴い「P●●」が変わります。任意のプログラムナンバーに希望の放送局を登録することが可能です。

※プリセット登録した放送局を呼び出す場合もプログラムボタンを押す回数に伴い「P●●」が変わり、それぞれ登録された放送局が呼び出されます。

※本体に電池が入っている場合のみ電源を切ってもプリセット登録が記憶されます。

5

CD の使用方法

ノーマル再生 (基本操作)

①電源ボタンを押し電源オンにします(ディスプレイが明るく点灯)

②モードボタンを押し CD に切替します。

[ディスプレイに「--」を表示後]

→CDが入っていない場合「NO」が表示→③へ

→CDが入っている場合はディスプレイに曲数が表示→④へ

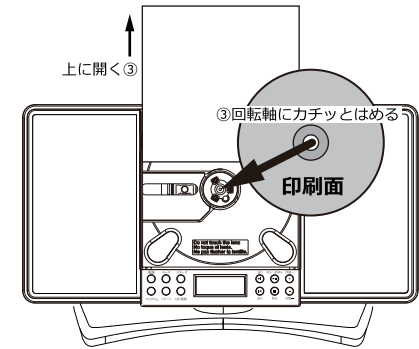
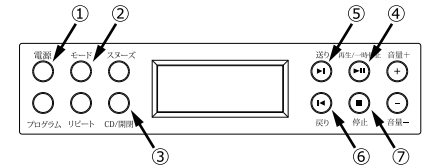
③CD 開閉ボタンを押し CD カバーを開きます。印刷面を手前にして CD を中央の回転軸にカチッと音がするまではめて、CD 開閉ボタンで CD ドアを閉じます。

④「--」表示後、曲数が表示された状態で再生 / 一時停止ボタンを押すと 1 曲目が再生されます。曲の再生中に再生 / 一時停止ボタンを押すと再生を中断し、もう一度押すと再生を再開します。

⑤次の曲へ送る場合は送り▶ボタンを押すと次の曲が再生されます。再生中に送り▶ボタンを長押しするとその間曲が早送りされます。

⑥戻り◀ボタンを 1 度押すと曲の最初に戻り 2 度続けて押すと前の曲に戻ります。戻り◀ボタンを長押しする間、曲が早戻しされます。

⑦終了するには停止ボタンを押します。(曲数表示に戻る)



ご注意: CD カバーは必ずボタン操作で開閉して下さい。

手で閉じると負荷が大きくカバーが破損・故障し開閉できなくなりますので十分にご注意ください。

プログラム再生

CD の曲を任意の順番であらかじめ登録し再生します。最大 20 曲までプログラムが可能です。

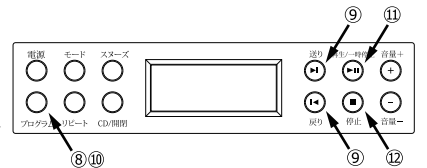
⑧ 基本操作④の曲数が表示された状態でプログラムボタンを押すとディスプレイに「PROG 01」が表示されます。

⑨戻り◀ボタン / 送り▶ボタンを押して登録する曲番を表示します。

⑩プログラムボタンを押すと画面表示が「PROG 02」に変わります。 ※⑨～⑩を繰り返し、最大 20 曲までプログラム設定が可能です。

⑪プログラム設定を終えた「PROG●●」の表示で再生ボタンを押すと登録した曲順に再生されます。

⑫停止ボタンを 2 回押すとプログラム設定が解除されます。



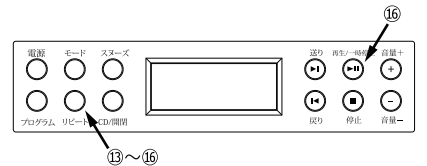
リピート再生

CD 上の一曲を繰り返し再生したりすべてのトラックを繰り返し再生することができます。

⑬CD を再生中にリピートボタンを押すとディスプレイに 1 が表示され、再生中の一曲が繰り返し再生されます。

⑭再度リピートボタンを押すとディスプレイに ALL が表示され再生中の CD 1 枚全曲を繰り返し再生します。

⑮繰り返しリピートボタンを押してディスプレイのリピート表示 1 が消えればリピート設定が解除されます。



ランダム再生

CD の全曲を順不同にランダム再生します。

⑯CD の停止中 (基本操作④の曲数が表示された状態) でリピートボタンを繰り返し押しすとディスプレイに「RAND」が表示され、自動的に CD 内の全曲が順不同にランダム再生されます。リピートボタンを押して「RAND」表示が消えれば、ランダム設定が解除されます。

6